

## 「重要文化財 村上家文書」

平成27年（2016）、当館に寄託中の「能島（のしま）村上家文書」のうち、慶長4年（1599）までの文書199通が、「過所旗」とともに国の重要文化財に指定されました。

能島村上氏は、戦国期の瀬戸内の海上交通を支配した、いわゆる「村上水軍」のうち、最も勢力のあった家です。そのため、能島村上家に伝わった文書群は、海上交通の要衝である瀬戸内海において、水軍を編成した戦国期武家の具体的な活動と変遷を知る上で、たいへん高い歴史的な価値を持っています。

本展示では、第12回中国四国地区アーカイブズウィークの歴史探究講座において、「海の大名 能島村上氏」をとりあげるのにあわせ、この「重要文化財 村上家文書」の一部を特別に紹介します。

### 【展示リスト】

※途中で展示替をします。

番号	史料名	請求番号	6/1～8	6/9～18	6/20～29
①	羽柴秀吉書状	図書218/83	○		
②	児玉就英・就方連署状	図書218/83	○		
③	織田信長朱印状	図書218/83		○	
④	毛利元就・小早川隆景・毛利輝元連署起請文	図書218/83			○
⑤	小早川隆景起請文	図書218/83			○

※図書名：『今治郷土史 村上家・来島家文書 大山祇神社・国分寺文書 能寂寺・仙遊寺文書 資料編 古代・中世』



過所旗（村上家文書 34）



織田信長の署名と朱印（村上家文書 5（13の8））